

◆ 令和2年7月豪雨の被災に伴う第38回災害ボランティア活動として、  
7月18日（土）福岡県久留米市城島町において復旧活動を実施しました。

令和2年7月豪雨は、活発な梅雨前線と低気圧の影響により広範囲な線状降水帯で多大な被害をもたらしました。

当金庫では、令和2年度第1回の活動となり通算第38回目の災害ボランティア活動を、福岡県久留米市城島町において有志24名が、床下浸水した高齢者宅で浸水した家具やタンスなどの運び出し作業を実施しました。

当日は、8時50分久留米市城島町総合支所（久留米市城島町檜津）に集合し、9時00分久留米市社会福祉協議会スタッフによる新型コロナウイルス症拡散防止のため体温チェック、アルコール消毒、ボランティア活動シール記入等の受付が行われました。

受付後、24名を1班10名、2班10名、3班4名にグループに分けられ、スタッフによる本日活动のオリエンテーリングが行われました。当日は、当金庫のみの作業となりました。

作業内容は、高齢の一人暮らしの店舗、居宅、倉庫に、周辺のクレークから水があふれ、浸水した家具等を運び出し、軽トラなどで災害ゴミ集積場まで各班とも約5回運搬しました。

作業した箇所は、4軒になりましたが、いずれも高齢者で「助かりました。ありがとうございました。」というお礼の言葉をいただきました。

午後2時過ぎに終了となり、集合写真を撮影し解散となりました。

ボランティアへ参加された皆様お疲れ様でした。また、久留米市社会福祉協議会スタッフの皆様早朝からの準備お世話様でした。ありがとうございました。

以 上

(集合写真)



(活動状況)



